

東 部 地 域 局 通 信

第14号

2024. 1. 22

発行 静岡県東部地域局地域課

令和6年能登半島地震において被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。本県でも被災市町の災害対応を支援するために、当局職員を含む県職員等による災害マネジメント支援チームを、石川県鳳珠郡穴水町に派遣しているところです。支援の状況等については追って報告いたします。

今号では、歴史・文化資源を活用した観光地域づくり定着促進事業をはじめとした当局の取組等を紹介します。

<開催報告>

令和5年度 歴史・文化資源を活用した観光地域づくり定着促進事業

県では、大河ドラマの放送を契機に、令和3年度から令和5年度までの3か年にわたり、歴史・文化資源を活用した誘客・周遊促進に取り組んでいます。今回は、令和5年9月から11月まで実施したWebスタンプラリーと12月に開催したシンポジウムについて実施結果を報告します。

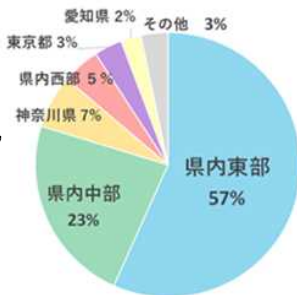
「伊豆・富士山歴史絵巻Webスタンプラリー with大河ドラマ館」を実施しました！



訪問者数の多かったスポット BEST5

- 1 柿田川公園(清水町)
- 2 三嶋大社(三島市)
- 2 道の駅 伊豆ゲートウェイ函南(函南町)
- 4 楽寿園(三島市)
- 5 蛭ヶ島(伊豆の国市)

地域別参加者割合



令和5年9月29日から11月30日までの期間、伊豆・富士山地域の歴史・文化・観光スポットや、静岡市・浜松市の「どうする家康 大河ドラマ館」など、全68か所のチェックポイントを巡るWebスタンプラリーを実施しました。参加者は総勢848人で、県内だけでなく神奈川県や東京都など県外からもたくさんの方に参加していただきました。最も多くの方が訪れたスポットは、清水町の柿田川公園で、384人の方が足を運んでくださいました。参加していただいた皆さん、ありがとうございました！
(担当:駒谷)

三島市で歴史・文化を活用した観光地域づくりシンポジウムを開催しました！

詳しい内容はQRコードから→



令和5年12月16日に三島市民文化会館で、歴史・文化を活用した観光地域づくりシンポジウム「鎌倉殿・北条氏が生きた地 伊豆・富士山地域のこれから」を開催しました。

伊豆・富士山地域だけでなく東京都や神奈川県など、県内外から多くの方に参加していただきました。参加者からは、「地域の歴史を再度見つめ直したい」「地元を自慢することがまちづくりにもつながる」といった感想を聞くことができました。

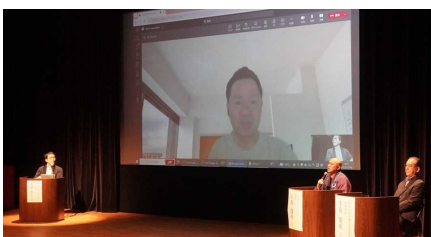
東部地域局ではこの一年、観光事業者向けワークショップや学生等を対象とした商品開発セミナー、デジタルスタンプラリー、そして県民向けシンポジウムと、歴史・文化資源を活用した観光誘客・周遊促進に取り組んできましたが、本シンポジウムの開催をもって終了となります。

今後も持続可能な観光地域づくりに向けて皆さんとともに歩んでいきたいと思っております。

(担当:小玉)



< 基調講演 >



< パネルディスカッション >



< ロビー展示 >

静岡県 新しい働き方・暮らし方セミナーに参加しました

令和5年12月2日に東京のふるさと回帰支援センターで行われたセミナーに参加しました。テーマは「アウトドア・スポーツを楽しめる生き生きとした暮らし」。東部地域局と富士宮市、伊豆市による地域紹介、ゲスト3名（今泉瑞希（いまいずみみずき）さん〈伊豆の国市〉、大塚祐介（おおつかゆうすけ）さん〈富士宮市〉、斉藤大輔（さいとうだいすけ）さん（当日は奥様が代理参加）〈伊豆市〉からは東部地域への移住経験談を紹介してもらいました。今回はゲストスピーカーのひとり、今泉さんのお話を紹介します。

セミナーのゲスト

いまいずみ みずき

今泉 瑞希さんにお話を伺いました！

伊豆の国市

富士宮市

伊豆市



「サイクリングをする視点では最高の地域。伊豆は魅力でしかない」と語る今泉さん

伊豆の国市に、令和5年6月に引っ越してきた今泉さん。趣味のトライアスロンではIRONMAN世界選手権で完走、今後はULTRAMANと呼ばれる総距離515kmのトライアスロンに挑戦予定です。トレーニングなどで伊豆半島には毎月のように訪れており、東京にも近くなじみがある地域だったそうです。週に1度、都内に通勤しており、通勤できる距離であることも伊豆の国市を選択した理由のひとつ。移動は新幹線だけではなく、事務の仕事量が多い時は、踊り子号や東海道本線のグリーン車でパソコンを開き、その移動時間を作業の場として活用する話もしていただき、とても興味深かったです。

今後について今泉さんは、「伊豆ならではの新しい趣味にも挑戦してみたい」とお話をいただきました。

（担当：長野）

静岡県東部地域×スポーツ

静岡県東部地域の魅力を、スポーツを通して伝える企画「静岡県東部地域×スポーツ」今回は、車いすフェンシングの選手にお話を伺いました！

車いすフェンシングの魅力をお話を伺いました！

— 車いすフェンシング日本代表 かわいしの 河合 紫乃 選手 —

沼津市で行われているフェンシングの取組についてはこちら→



車いすフェンシングは「フレーム」という装置に車いすが固定されているため、上半身のみで相手と突き合います。集中力や精神力、瞬間的な判断力が求められ、フットワークによる駆け引きがないハードな競技です。

沼津市を拠点に活動する、車いすフェンシング日本代表の河合紫乃選手に、競技についてのお話を伺いました。

元々、バドミントンの選手だった河合選手。国内トップレベルの「S/Jリーグ」でプレーしていました。しかし、けがによる手術の後遺症で左下肢に麻痺が残り、バドミントンの選手を引退しました。治療で寝たきりの状態が続きましたが、「もう一度スポーツで輝きたい」という思いから、車いすフェンシングに挑戦しました。

競技について、河合選手は「車いすが固定されているため、至近距離での駆け引きやスピード感が魅力です。健常者のフェンシングとは全く違う競技です。」とお話されていました。



自身のプレースタイルについては、スピーディーでアグレッシブなフェンシングが持ち味だと語ります。バドミントンで培った反射神経や観察力が、フェンシングにも活かされているそうです。

現在、河合選手は2024年のパリパラリンピック出場を目標に練習中です。経験を積むため、海外での武者修行にも励んでいます。

競技について、熱心にお話されている様子がとても印象的でした。河合選手、ありがとうございました。

（担当：駒谷）

河合選手の技を体験！



4 地域局合同地域研究会（東部地域）を実施しました

県内の4つの地域局（賀茂、東部、中部、西部）が、地域課題の解決に向けた取組を推進するため、他地域における先進的、優れた取組や他の地域局の事業の参考となる取組の視察及びヒアリングを実施する研究会を実施しています。今回、令和5年12月1日に東部地域において研究会を実施しました。

1 狩野川資料館

伊豆の国市

詳細はこちら
狩野川資料館
について→



▲狩野川放水路分流堰

最初に、国土交通省沼津河川国道事務所の展示施設である、伊豆の国市の「狩野川資料館」を訪問しました。

昭和33年9月に伊豆半島地域を襲った狩野川台風は、狩野川流域内で死者・行方不明者853人、堤防決壊14か所、被害家屋6,775戸の被害を出す未曾有の大災害となりました。

この災害を後世に伝えるとともに、狩野川水系で実施している河川・砂防事業の重要性を多くの方に知ってもらうためにこの資料館は設置されています。

狩野川放水路は、この狩野川台風を契機に作られたものと思われてる方も多いかもしれませんが、昭和23年のアイオン台風での大出水を契機に計画され、昭和26年に着工されました。しかし、放水路建設中に狩野川台風による甚大な被害を受け、当初計画では2本のトンネルを建設する予定でしたが、3本に見直され、昭和40年7月に完成しました。

完成後、現在までに136回の放水が実施され、令和元年10月の台風19号では下流の徳倉水位観測所（駿東郡清水町下徳倉）付近の水位が1.85m低下するなど、狩野川本川からの氾濫を防ぎ、人的被害は0、家屋の浸水被害も内水等による約1,300戸に抑えることができました。

一般の方でも見学可能ですので、詳細は狩野川資料館HPを御覧ください。



2 (株)影山鉄工所 アイアンプラネットベースオブ沼津

詳細はこちら

影山鉄工所について→

←アイアンプラネット
ベースオブ沼津について



次に、令和4・5年度の当局事業の「夏休み自由研究体験講座」に参加・協力していただいた沼津市の(株)影山鉄工所さんを訪問しました。

(株)影山鉄工所は、人材確保の課題を解決するため、令和3年にHR・ブランディング部を設置し、鉄工所の3Kのイメージを払拭し、ものづくりの魅力を積極的に発信することで、採用応募者数を大幅に増やしています。

また、社外へのPRには、InstagramやTik Tok等のSNSをフル活用したり、併設している溶接体験工房「アイアンプラネットベースオブ沼津」で実際に溶接体験してもらうことで、ものづくりの楽しさや魅力を様々な方法で発信しています。



沼津市

このような取組を進める中で、地域の企業の魅力を地域の小学生とその保護者に知ってもらうために当局が主催する「夏休み自由研究体験講座」事業の趣旨に賛同していただき、初年度から事業に参加・協力いただいています。

この事業を実施した結果、参加者の企業の認知度・イメージの向上という対外的な効果に加え、社内的にも社員のモチベーション向上にもつながるという効果があったというお話を聞くことができました。

(担当:須田)

「夏休み自由研究体験講座」
についての詳細はこちら→



東部地域の自主防災組織役員などを対象とした 「風水害対応イメージTEN」を開催しました

防災

令和5年12月13日に富士宮市・富士市の自主防災組織役員や地域防災指導員を対象に、災害発生時にどのように対応したらよいかを具体的に考える図上訓練「風水害対応イメージTEN」の出前講座を開催しました。

近年、風水害の多発化・激甚化による大きな被害が相次ぎ、県民の皆さんの風水害に対する防災意識が高まっている中、令和2年に東部地域局が開発した「風水害対応イメージTEN」を通して、台風や大雨時に自主防災組織の役員が取るべき行動を時系列でイメージトレーニングしていただきました。

今後は、令和6年2月8日に御殿場市、2月21日に伊東市、2月28日に三島市で、すでに開催した富士宮市・富士市を除く管内12市町を対象に開催する予定です。

(担当:河村)



交通誘導係員研修を行いました

危機管理

令和5年11月28日に東部方面本部の交通誘導係員研修を実施しました。交通誘導係員は、大規模地震が発生したときに東名足柄SA(下り)に進出し、県本部・東部方面本部(※)からの道路情報を収集・整理し、県外からの応援部隊に対し緊急輸送ルート及び通行可能区間の情報を提供する役割を担います。本研修では、実際に足柄SAへ行き、拠点の開設と情報伝達訓練を実施しました。

災害発生時に円滑な活動ができるように、今後も研修や訓練を実施します。

(※)被災状況の把握や市町への支援などの司令塔的役割を果たす。

(担当:鈴木)

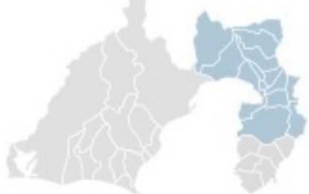


<写真>

- ①通信訓練の様子
- ②緊急開口部からの入場
- ③緊急開口部からの退場

東部地域局は、14の市町を担当エリアとしています

沼津市・熱海市・三島市・富士宮市・伊東市・富士市・御殿場市・裾野市・伊豆市・伊豆の国市・函南町・清水町・長泉町・小山町



静岡県東部地域局

〒410-0055 沼津市高島本町1-3

TEL 055-920-2139

MAIL toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

X(旧Twitter):Toubu.Shizuoka instagram:shizuoka.pref.toubu

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/chiikikyoku/tobuchiiki/index.html>

東部地域局通信(Web版)は
noteでも公開しています♪



JR沼津駅北口から徒歩約10分